

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	普通コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
標準現代文B	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な作品に接し、読解力、思考力を養う。 ・漢字、ことばの学習を通して、語句の定着を図る
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の理解 ・漢字、語句の習得 ・文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字書取の小テスト ・ノート、課題の提出 ・授業に取り組む姿勢
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	随想「ワスレナグサ」
	五	【中間考査】
第2学期	六	小説「ひよこの眼」
	七	【期末考査】
第3学期	八	評論「思い込みの危険性」
	九	【中間考査】
第4学期	十	小説「山月記」
	十一	【期末考査】
第5学期	十二	評論「経験の教えについて」
	一	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典A	3	普通 コース	2	国語科

使用教科書等	出版社
高等学校 標準古典A 物語選	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	古文・漢文が正確に読めるようになる。内容を理解する。
---------	----------------------------

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	・基礎学力や内容理解の到達度をみる。	・提出物 ・小テスト ・授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『枕草子』「鳥は」 【中間考査】
	五・六	〈漢文〉『十八史略』「水魚之交」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『大鏡』「弓争ひ」 〈漢文〉「漢詩の鑑賞」 【中間考査】
	十・十一	〈漢文〉『孟子』「仁人心也」 〈古文〉『更級日記』「門出」 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『源氏物語』「光る君誕生(桐壺)」 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文	3	進学文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. 入試に対応できる語彙力と読解力及び表現力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	漢字の読み書き、ことば、現代文の基礎知識、応用力、読解力、表現力を評価する。	授業に取り組む姿勢、授業中の発表、提出物、確認テストで評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	評論「言語と記号」(丸山圭三郎) 小説「檸檬」(梶井基次郎)
	五	【中間考査】 小説「檸檬」(梶井基次郎)
	六	評論「鏡の中の現代社会」(見田宗介) 【期末考査】
第2学期	七	小説「赤い蔭」(安部公房)
	八	評論「平気一正岡子規」(長谷川權) 小論文対策
	九	【中間考査】
	十	評論「グローバル化のゆくえ」(山崎正和) 小説「俘虜記」(大岡昇平) 問題演習
	十一	【期末考査】
第3学期	十二	評論「抗争する人間」(今村仁司) 【期末考査】
	一	
	二	
	三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進学文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
新編 古典B	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『沙石集』 児の飴食ひたること 『枕草子』 中納言参りたまひて 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『枕草子』 野分のまたの日こそ 〈漢文〉『先従隗始』 〈古文〉『大鏡』 競べ弓 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『源氏物語』 桐壺 〈漢文〉『三国志』 水魚の交わり 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』 若紫 〈漢文〉『老子』 小国寡民 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『雨月物語』 浅茅が宿 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文	3	進学理系 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
精選現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	様々な文章に親しみ読解力や表現力を養うと共に漢字の読み書き、ことば及び現代文鑑賞の基礎知識を身につける。また受験生という立場でも有り、2学期以降の入試に向け、基礎学力を向上させ、さらに小論文などに応用させていかなければならない。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	漢字の読み書き、ことば、現代文の基礎知識、応用力、読解力、表現力を評価する。	授業に取り組む姿勢、授業中の発表、提出物、確認テストで評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四	評論「言語と記号」(丸山圭三郎)
	五	中間考査
	六	小説「檸檬」(梶井基次郎)
	六	評論「鏡の中の現代社会」(見田宗介) 期末考査
第2学期	七	小説「赤い蔦」(安部公房)
	八	評論「平気ー正岡子規」(長谷川權)
	九	中間考査
	十	評論「グローバル化のゆくえ」(山崎正和) 小説「俘虜記」(大岡昇平)
	十一	期末考査
第3学期	十二	小説「俘虜記」(大岡昇平) 期末考査
	一	
	二	
	三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	進学理系 コース	3	国語科

使用教科書等	出版社
新編 古典B	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈古文〉『沙石集』 児の飴食ひたること 『枕草子』 中納言参りたまひて 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『枕草子』 野分のまたの日こそ 〈漢文〉『先従隗始』 〈古文〉『大鏡』 競べ弓 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『源氏物語』 桐壺 〈漢文〉『三国志』 水魚の交わり 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』 若紫 〈漢文〉『老子』 小国寡民 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『雨月物語』 浅茅が宿 【期末考査】
	二・三	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特進文系 コース	4	国語科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
精選 現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. センター試験に対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句の習得 内容理解 適切な解答文の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 現実と仮想 【中間考査】
	五・六	〈小説〉 檸檬 〈評論〉 鏡の中の現代社会 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈評論〉 垂直のファッション、水平のファッション 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 グローバル化のゆくえ センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進文系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 読みテスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈漢文〉『埤田録』(逸話) 〈古文〉『枕草子』(随筆) 【中間考査】
	五・六	〈古文〉『大鏡』(物語) 〈漢文〉「漢詩」 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈古文〉『風姿花伝』(評論) 〈漢文〉「荊軻」(史伝) 【中間考査】
	十・十一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	〈古文〉『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	特進理系 コース	3	国語科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
精選 現代文B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 評論を読解し、論理の展開や要旨を的確にとらえる力を身につける。 2. 小説を読解し、登場人物の生き方や心情の推移を的確に把握し、感性を養う。 3. センター試験に対応できる語彙力と読解力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・語句の習得 内容理解 適切な解答文の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 小テスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	〈評論〉 現実と仮想 【中間考査】
	五・六	〈小説〉 檸檬 【期末考査】
第2学期	七・八・九	〈評論〉 鏡の中の現代社会 【中間考査】
	十・十一	〈評論〉 グローバル化のゆくえ センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
古典B	3	特進理系 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
精選 古典B	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. これまでの学習成果を踏まえ、より一層の言語能力の充実を図る。 2. 古典の読解力を身につけると共に、日本の伝統・文化への知識を深める。 3. 受験に対応できる力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本重要古語、古典文法の習得 内容理解 適切な解答文の作成 文学史の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(宿題、自習課題) ノートの取り方 読みテスト 授業態度
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四・五	<古文>『古今著聞集』(説話) <古文>『枕草子』(随筆) 【中間考査】
	五・六	<漢文>『長安何如日遠』(逸話と寓話) <古文>『大和物語』(物語) 【期末考査】
第2学期	七・八・九	<古文>『紫式部日記』(日記) <漢文>「師説」(文章) 【中間考査】
	十・十一	<古文>『源氏物語』(物語) センター対応問題演習 【期末考査】
第3学期	十二・一	<古文>『風姿花伝』(評論) センター対応問題演習 【期末考査】
	二・三	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 B	3	普通 コース	4	地理歴史

使 用 教 科 書 等	出 版 社
高校 日本史B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	(1) 明治維新までの通史学習を通して、日本歴史の基礎知識を学ぶ。 (2) 対外交渉史、文化史を通して、日本の文化財・文化遺産についての学習を深める。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 古代社会の形成 1. 日本文化のはじまり 2. 農耕の開始 3. ヤマト政権と古墳
	5	
	5	
	5	【中間考査】 第2章 律令国家の形成 1. 律令国家の成立 2. 律令国家の繁栄 3. 律令国家の変質
	5	第3章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 荘園の発達と武士の台頭
	6	
第2学期	6	【期末考査】
	7	第4章 武家社会の形成 1. 院政と平氏 2. 鎌倉幕府の成立と発展 3. 鎌倉文化 4. 蒙古襲来と幕府の衰退
	7	
	8	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 下剋上の社会 3. 室町文化 4. 戦国の動乱
	8	
	9	【中間考査】
	9	第6章 幕藩体制の成立 1. ヨーロッパ人の来航 2. 織豊政権 3. 江戸幕府の成立
	10	
10	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	
10		
11	第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 幕府の衰退	
11		
第3学期	11	【期末考査】
	12	第9章 近代国家の成立 1. 開国と幕府の滅亡 2. 明治維新
	1	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
地理B	3	普通 コース	4	地歴科

使用教科書等	出版社
地理B	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	世界各地の自然環境や人々の暮らしを理解し、共存していくためにどのように関わり、生き方を身に付けるか考える。また、世界の諸地域について、個別に学習する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期とも中間・期末考査を行い、それぞれ40%の評価割合とする。	日ごろの授業への取り組み方や学習態度、課題提出などに基づいた評価をする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ・ 5	第2編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1 世界の地形 【中間考査】 2 世界の気候 3 世界の環境問題
	5 ・ 6	【期末考査】
第2学期	7 ・ 9	第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1 中国 4 インド 【中間考査】
	10 ・ 11	5 西アジア・北アフリカ 7 ヨーロッパ 9 北アメリカ 【期末考査】
第3学期	1 ・ 2 ・ 1	第2章 現代世界の諸地域 2 日本と韓国 11 オーストラリアとカナダ 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	進学文系 コース	4	地歴公民

使 用 教 科 書 等	出 版 社
詳説 世界史B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	2学年で学んだことを深化発展させるとともに、それが近現代の成立にどのような影響を与えたかを常に考察する態度を身につけさせる。現在起きる世界的な事象を、学んだことをもとに比較検討する姿勢を養う。受験教科として得点取得の技術を習得させる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに所定の定期テストを実施し、その得点で評価を行う。	普段の授業態度および提出物等で評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四 五	第9章 近世ヨーロッパ世界 【中間考査】
	五 六	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 【期末考査】
第2学期	七 十	第12章 アジア諸地域の動揺 ～ 第14章 二つの世界大戦 【中間考査】
	十 十一	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 【期末考査】
第3学期	十二 三	まとめと演習 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	進学文系 コース	4	地理歴史

使 用 教 科 書 等	出 版 社
詳説 日本史 B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第7章 幕藩体制の確立
	5	第8章 幕藩体制の動揺
	7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【期末考査】
第2学期	8	第10章 近代日本とアジア
	5	【中間考査】 第11章 戦後日本の出発
	1 2	【期末考査】
第3学期	1	第12章 55年体制と経済成長
	5	【期末考査】
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史A	3	進学理系 コース	2	地理歴史

使用教科書等	出版社
日本史A 現代からの歴史	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。 裏話やエピソードを多く取り入れ興味付けする。 出来事の背景を考えさせる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度・ノート・課題等の提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章 国際環境の変化と明治維新 1, 19世紀世界の動向と日本 2, 開国と倒幕
	5	
	5	3, 明治新政府の諸改革と社会変化 4, 明治初期の外交と反政府運動
	6	
第2学期	7	第2章 近代国家の成立と国際関係の推移 1, 自由民権運動の展開 2, 立憲体制の成立 3, 日清戦争と国際関係
	10	
	10	4, 日露戦争前後の世界と日本 第3章 両世界大戦をめぐる国際情勢と日本 1, 帝国日本と第1次世界大戦 2, 政党政治と大衆文化
	11	
第3学期	1	3, 軍国日本への道 4, 太平洋戦争と日本
	2	
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史B	3	特進文系 コース	4	地歴科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
改訂版 詳説 世界史	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	近代社会の成立とともに欧米諸国による世界支配の構図が始まり、その後アジア・アフリカ諸国の勃興により現代社会が成立していく過程を学習し、現在の国際社会の特質を世界史全体の視野から理解する態度を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、復習テストや課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第Ⅲ部 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 中間考査
	5	
	6	第11章 欧米によける近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 期末考査
第2学期	7	第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動
	8	第14章 二つの世界大戦 中間考査
	9	
	10	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 期末考査
	11	
第3学期	1	古代史からの総復習
	2	期末考査
	1	
	2	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史B	3	特進文系 コース	4	地理歴史

使 用 教 科 書 等	出 版 社
詳説 日本史 B	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に定期考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の出席状況や学習態度、ノート・課題等の提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3部 近世 第7章 幕藩体制の確立
	5	第8章 幕藩体制の動揺
	7	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 【期末考査】
第2学期	8	第10章 近代日本とアジア
	5	【中間考査】 第11章 戦後日本の出発
	12	【期末考査】
第3学期	1	第12章 55年体制と経済成長
	5	【期末考査】
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 A	3	特進理系 コース	2	地歴

使用教科書等	出版社
日本史 A 現代からの歴史	山川出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察する。 裏話やエピソードを交えて興味や関心を持たせる。 時代背景を考えさせる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 提出物や出席状況、学習状況 ノートの取り方、創意工夫
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 第1章 国際環境の変化と明治維新 1. 19世紀世界の動向と日本 2. 開国と倒幕
	5	
	5	
第2学期	6	<ul style="list-style-type: none"> 期末考査
	7	<ul style="list-style-type: none"> 2. 開国と倒幕 3. 明治新政府の諸改革と社会の変化 4. 明治初期の外交と反政府運動
	10	
11		
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 第2章近代国家の成立と国際関係の推移 1. 自由民権運動の展開 2. 立憲体制の成立 2. 立憲体制の成立 3. 日清戦争と国際関係
	2	
	3	
		<ul style="list-style-type: none"> 期末考査

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
政治経済	3	普通 コース	2	地歴・公民科
使 用 教 科 書 等			出 版 社	
『高等学校 政治・経済』			第一学習社	

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを年間5回の定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4・5	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 【中間考査】 ⑪消費者問題 ⑫高度情報化の進展と課題
	5・6	【期末考査】
	7・9	⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 【中間考査】
第2学期	10・11	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 【期末考査】
	12	③国際経済の諸問題と日本の役割
第3学期	1	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題
	1	【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進学文系 コース	3	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
『高等学校 改訂版 政治・経済』	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代社会のしくみと特質 ⑧日本経済のあゆみ ⑨中小企業の地位と役割 【中間考査】 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	6	
	6	
第2学期	7	⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ 【中間考査】 ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 【期末考査】
	7	
	9	
	10	
	11	
	11	
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
	1	
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習	3	進学理系 コース	2	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
『高等学校 改訂版 政治・経済』	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	現代社会における政治、経済、国際関係などについて、客観的に理解を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	政治・経済・国際社会に関する基本的な概念や理論について理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代社会のしくみと特質 ⑧日本経済のあゆみ ⑨中小企業の地位と役割 【中間考査】 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 【期末考査】
	5	
	5	
	6	
第2学期	7	⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ 【中間考査】 ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割 【期末考査】
	9	
	10	
	11	
	11	
	11	
第3学期	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。 【期末考査】
	1	
	1・3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習(政治・経済コース)	3	特進文・理系 コース	2	公民

使用教科書等	出版社
高等学校 政治・経済	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事項や、その本質、特質及び動向を捉える基本的な概念を身につけているかどうかを年間5回の定期テストで判断する。	普段の授業に取り組む姿勢や提出物(ノート・課題プリント等)の内容、出欠席の状況などを総合的に判断し評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済社会と経済活動 ③市場経済の機能と限界
	5	【中間考査】
	6	④経済成長と景気変動 ⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき 【期末考査】
第2学期	7	⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み ⑨中小企業の地位と役割
	8	⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報化社会の進展と課題
	9	【中間考査】
	10	⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題 第2章 国民経済と国際経済
	11	①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合他 【期末考査】
第3学期	1	演習問題
	2	【期末考査】
	1	
	2 3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
公民演習(倫理)	3	特進文・理系 コース	2	地歴・公民科

使用教科書等	出版社
『倫理』	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	人間としての在り方生き方について思索を深めるとともに、問題演習を通して、大学受験に対応できる力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	学習した概念や理論を理解し、その知識が定着しているかどうかを定期考査の得点により評価する。	出席状況、授業態度、提出物などで判断する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4・5	第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第2節 仏教の受容と展開 1、外来思想の土着化 2、仏教の受容 3、仏教の展開 【中間考査】
	5・6	第3節 儒学の受容と国学の発達 1、儒学の受容と展開 2、国学の誕生 3、庶民の思想 4、幕末の思想 【期末考査】
	7・9	第2章 西洋思想の受容と近現代の日本の思想 第1節 近代の日本の思想 1、啓蒙思想と民権論 2、国民道徳とキリスト教 3、近代的自我の模索 4、近代日本における哲学の誕生 【中間考査】
第2学期	10・11	5、大正デモクラシーの思想 6、昭和初期の思想と超国家主義 第2節 国際社会を生きる日本人 現代の思想的状況 私たちの課題 【期末考査】
	12	問題演習に取り組み、受験に対応できる力を養成する。
第3学期	1	【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	普通コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
新数学Ⅱ／ニューファースト新数学Ⅱ	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	教科書の基本的な内容をしっかりと理解させる。 必要な基本的計算力の習熟を目指す。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	学期毎に中間考査と期末考査(ただし、3学期は期末考査のみ)を実施し、その得点で評価を行う。	日常の学習態度や出席状況、課題レポートなどの提出状況及びノート検査等により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	2章 図形と方程式 3節 不等式の表す領域 【中間考査】
	5 6	3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理 【期末考査】
第2学期	7 10	4章 指数関数と対数 1節 指数関数 2節 対数関数 【中間考査】
	1 11	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用 【期末考査】
第3学期	1 2	5章 微分と積分 3節 積分 【期末考査】
	2 3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	普通 コース	2	数学科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
独自教材(プリント)	

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の基本的な概念を理解し、基本的な計算能力をしっかりと身に付けさせる。 ・自学自習の習慣をつける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の学習態度、プリントの提出状況などで総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	基本的な計算練習 一般常識の数学
	5 6	【中間考査】 基本的な計算練習 一般常識の数学 【期末考査】
第2学期	7 9	基本的な計算練習 一般常識の数学 【中間考査】
	10 11	基本的な計算練習 一般常識の数学 【期末考査】
第3学期	1 2 3	基本的な計算練習 一般常識の数学 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	進学文系 コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
新編 数学Ⅱ / 3TRIAL 数学Ⅱ+B	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各単元の基本的事項の内容の理解を深めると同時に、数学Ⅰ・Aとの関連性を確認しながら、高校数学の基本的な力を定着させる。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業での基本的な学習内容に加えて、応用レベルへの問題に対する取り組みと理解度を確認する。また、一定時間内に解法する中で、正確に解答を導き出す能力が身についているかを1、2学期に2回、3学期に1回のペーパーテストで評価する。	週末・長期休業中において、課題を課し、その提出状況・学習内容の理解度をチェックして評価する。授業中の演習問題に対する取り組み方も評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	▽ 微分法 (極限值 導関数の定義 関数の微分 接線の方程式 極大・極小 3次関数のグラフ) 【中間考査】
	5 6 7	▽ 積分法 (微分と積分の関係 不定積分 定積分 関数方程式 定積分と図形の面積) 【期末考査】
第2学期	7 8 9 10	▽ 数学Ⅰ「2次関数」「図形と計量」の復習 【中間考査】
	1 0 1 1 2	▽ 数学A「場合の数と確率」「整数の性質」の復習 【期末考査】
第3学期	1 2 3 1 1 3	▽ 総合的な計算力を付ける演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	進学文系 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
新編 数学B 独自教材(プリント配布)	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念・公式等の再確認をする。 問題演習に取り組むことで、応用力を高める。 センター試験に対応できるようにする
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	課題・プリント等の提出物、日常の学習態度などを総合的に点数化し、合計して平常点とする。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	数学 I・Aの総合演習 【中間考査】
	5 7	数学 I・Aの総合演習 【期末考査】
第2学期	7 10	数学 I・Aの総合演習 【中間考査】
	1 12	数学 I・Aの総合演習 【期末考査】
第3学期	1 3	数学 I・Aの総合演習 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	進学理系 コース	6	数学科

使用教科書等	出版社
新編 数学Ⅲ／3TRIAL数学Ⅲ	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅲにおける基礎・基本的な内容についての理解を深める。 ・数学Ⅲの基礎となる演習を通して、入試に対応できる学力の習熟を図る。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期に中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の学習態度、プリント・ノート等の提出物及び単元別小テストの結果を点数化し、総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章～第3章の1. 分数関数 2年次で学習済
	5	第3章 関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数
	5	第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 【中間考査】
	5	第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数
	7	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 【期末考査】
第2学期	7	第7章 積分法とその応用
	8	第1節 不定積分
	9	第2節 定積分
	10	第3節 積分法の応用 【中間考査】
	11	入試対策 問題演習 【期末考査】
第3学期	1	入試対策 問題演習
	2	【期末考査】
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅱ	3	特進文系 コース	4	数学

使用教科書等	出版社
新編数学Ⅱ／4STEP数学Ⅱ+B／青色チャート式数学Ⅱ+B	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念、公式を十分に理解させる。 問題集で計算力、応用力を高める。 模試や入試に対応できる学力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や小テストの出来具合、課題提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第6章の第1節までは2年次で学習済み 第6章 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 【中間考査】
	5 6	センター試験対策 問題演習 【期末考査】
第2学期	7 10	センター試験対策 問題演習 【中間考査】
	1 11	センター試験対策 問題演習 【期末考査】
第3学期	1 2	センター試験対策 実践問題演習 【期末考査】
	2 3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特進文系 コース	2	数学科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
数学 I・A・II・B 単元別問題集 < 第4版 >	駿台文庫

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	授業内容の基礎を理解すると同時に、私大や国立大2次のレベルに対応できるような実践力を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業での学習内容に加えて、応用レベルへの取り組みと理解度を確認する。また、一定時間内に解法に取りかかり、正確な解答を導き出すスピードがついているかを1, 2学期に2回、3学期に1回のペーパーテストで評価する。	週末・長期休業中において、課題レポートを課し、提出状況・学習内容の理解度をチェックして評価する。また、授業中での小テストの結果も加味する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	学 習 内 容
第1学期 4月5日 5月5日 5月5日 7月	数I分野 【中間考査】 数I分野 数II分野 【期末考査】
第2学期 10月5日 10月5日 12月	数II分野 数A分野 【中間考査】 数A分野 数B分野 【期末考査】
第3学期 12月5日 1月	センター直前演習 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学Ⅲ	3	特進理系 コース	6	数学

使 用 教 科 書 等	出 版 社
新編数学Ⅲ／4STEP数学Ⅲ／青色チャート式数学Ⅲ	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な概念、公式を十分に理解する。 ・ 問題集で計算力、応用力を高める。 ・ 2次試験に対応できる学力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の授業態度や小テストの出来具合、課題提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第1章～第3章 2年次で学習済
	5	第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限
	5	【中間考査】 第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数
	6	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用
	6	【期末考査】
	第2学期	7
10		【中間考査】
11		入試対策 問題演習
12		【期末考査】
1		
第3学期	2	入試対策 問題演習
	3	【期末考査】
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学演習	3	特進理系 コース	2	数学科

使用教科書等	出版社
数学 I・A・II・B 単元別問題集 < 第4版 >	駿台文庫

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	高校数学の基礎をなす演習を通して、入試主にセンター試験に対応できる学力の習熟を図る。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期ごとに、中間考査・期末考査を実施し、その得点により評価を行う。	日常の学習態度、プリント・ノート等の提出物及び単元別小テストの結果を点数化し総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	▽ 重要事項チェック問題(1) (平行移動・対称移動 正弦・余弦定理 面積 不定方程式 垂直二等分線の方程式 円の方程式 加法定理 合成関数 指数・対数 接線の方程式 ベクトルと内積) 【中間考査】
	5 7	▽ 重要事項チェック問題(2) (数と式 集合と命題 軸が動く 2次関数の最大・最小 立体図形の計量 データの分析 条件付き確率 図形の性質 数列) 【期末考査】
第2学期	7 10	▽ センター試験本番レベルの演習と解説 ▽ 過去に取り組んだ良問の定着確認 【中間考査】
	1 12	▽ センター試験過去問の演習と解説 ▽ 過去に取り組んだ良問の定着確認 【期末考査】
第3学期	1 2 1	▽ センター試験 予想問題の演習 ▽ 過去に取り組んだ良問の定着確認 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	普通 コース	4	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 生物	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	身近な自然界のさまざまな事象を生物学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、生物学的な探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(第3学期は期末考査のみ実施)	日頃の出席状況や学習に取り組む姿勢や意欲、ノートや副教材、課題等の提出物によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第1章 細胞と分子 1. 生体物質と細胞 2. 細胞膜を介した物質の移動 【中間考査】
	5 7	3. 生命現象とタンパク質 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝 2. 同化 3. 窒素同化 4. 異化 第3章 遺伝現象の発現 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の形質発現 3. バイオテクノロジー 【期末考査】
第2学期	8 10	第4章 有性生殖 1. 減数分裂と受精 2. 遺伝子と染色体 第5章 動物の発生 1. 配偶子形成と受精 2. 初期発生の過程 3. 細胞の分化と形態形成 4. 器官の形成と細胞の死 【中間考査】
	10 12	第6章 植物の発生 1. 配偶子形成と胚発生 第7章 植物の環境応答 1. 植物の環境応答と植物ホルモン 2. 植物の環境応答とそのしくみ 第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 【期末考査】
第3学期	1	第9章 個体群と生物群集 1. 個体群 2. 生物群集
		第10章 生態系 1. 生態系の物質生産 2. 生態系と生物多様性 【期末考査】
		第11章 生物の進化 1. 進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷 第12章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	進学文系 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 生物	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	身近な自然界のさまざまな事象に興味・関心を持ち、それを生物学的に理解する過程の中で、自ら問題を発見し、生物学的な探求を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(第3学期は期末考査のみ実施)	日頃の出席状況や学習に取り組む姿勢や意欲、ノートや課題等の提出物によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第1章 3. 生命現象とタンパク質 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝 2. 同化 3. 窒素同化 4. 異化 【中間考査】
	5 7	第3章 遺伝現象の発現 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の形質発現 3. バイオテクノロジー 第4章 有性生殖 1. 減数分裂と受精 2. 遺伝子と染色体 第5章 動物の発生 1. 配偶子形成と受精 2. 初期発生の過程 3. 細胞の分化と形態形成 4. 器官の形成と細胞の死 【期末考査】
第2学期	8 10	第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 【中間考査】
	10 12	第9章 個体群と生物群集 1. 個体群 2. 生物群集 第10章 生態系 1. 生態系の物質生産 2. 生態系と生物多様性 【期末考査】
第3学期	1	第11章 1. 進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷 第12章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
理科演習	3	進学文系 コース	2	理科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
高等学校 生物基礎 高等学校 化学基礎	第一学習社 第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然界のさまざまな事象を科学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養うとともに、受験対応能力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	生物基礎 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 【中間考査】
	5 6 7	第3章 生物の体内環境 第4章 バイオームの多様性と生態系 第5章 生態系とその保存 【期末考査】
第2学期	8 9 10	化学基礎 第I章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素 第2節 原子の構造と元素の周期表 第3節 物質と化学結合 【中間考査】
	10 11 12	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸と塩基の反応 第3節 酸化還元反応 【期末考査】
第3学期	1 2	問題演習 化学基礎・生物基礎(総合的な問題) 【期末考査】

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
物 理	3	進学理系 特進理系 コース	3	理 科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
高等学校理科用 物理	数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然の事象について関心や探求心を持ち科学的態度を身につけ、基本的概念や原理・法則を理解すると共に、科学的に判断する力を育む。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。3学期は期末考査のみ実施する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第Ⅰ編 第1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度、2. 落体の運動 第2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつりあい、2. 剛体にはたらく力の合力と重心 【中間考査】
	5 6	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積、2. 運動量保存則、3. 反発係数 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動、2. 慣性力、3. 単振動、4. 万有引力 【期末考査】
第2学期	7 10	第Ⅱ編 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則、2. 気体分子の運動、3. 気体の状態変化 第Ⅲ編 第1章 波の伝わり方 1. 正弦波、2. 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方、2. 音のドップラー効果 第3章 光 1. 光の性質、2. レンズ、3. 光の干渉と回折 【中間考査】
	10 12	第Ⅳ編 第1章 電場 1. 静電気力、2. 電場、3. 電位、4. 物質、5. コンデンサー 第2章 電流 1. オームの法則、2. 直流電流、3. 半導体 第3章 電流と磁場 1. 磁場、2. 電流のつくる磁場、3. 電流が磁場から受ける力、4. ローレンツ力 【期末考査】
第3学期	1 2	第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則、2. 交流の発生、3. 自己誘導と相互誘導、4. 交流回路 第Ⅴ編 第1章 電子と光 1. 電子、2. 光の粒子性、3. X線、4. 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位、2. 原子核、3. 放射線とその性質、 4. 核反応と核エネルギー、5. 素粒子 【期末考査】
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
化学	3	進学理系 コース	4	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 化学	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、化学的に探求する能力と態度を身につける。また、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的な自然観を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	第I章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 ①化学結合と結晶の性質 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結晶の構造 ⑤分子間力と分子結晶 ⑥非晶質 第2節 物質の三態変化 ①物質の三態とその変化 ②気液平衡と蒸気圧 第3節 気体の性質 ①気体の体積変化 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在の気体 【中間考査】
	5 7	第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド溶液 第II章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー ①反応熱と熱化学方程式 ②ヘスの法則と結合エネルギー 第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 【期末考査】
第2学期	7 10	第3節 化学反応の速さ ①化学反応の速さと濃度・圧力 ②化学反応の速さと温度 ③触媒 第4節 化学平衡 ①可逆反応と平衡 ②平衡状態の変化と平衡移動 ③平衡定数 ④電離平衡 第III章 無機物質 第1節 非金属元素の単体とその化合物 ①元素の分類と性質 ②水素とその化合物 ③希ガス 【中間考査】
	1 1 2	④ハロゲンとその化合物 ⑤酸素・硫黄とその化合物 ⑥窒素・リンとその化合物 ⑦炭素・ケイ素とその化合物 第2節 典型金属元素の単体とその化合物 ①アルカリ金属とその化合物 ②2族元素とその化合物 ③亜鉛・水銀とその化合物 ④アルミニウムとその化合物 ⑤スズ・鉛とその化合物 第3節 遷移元素の単体とその化合物 ①鉄とその化合物 ②銅とその化合物 ③銀とその化合物 ④クロム・マンガンとその化合物 ⑤金属イオン
第3学期	1 2 3	第4節 無機物質と人間生活 第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物 第5節 有機化合物と人間生活 第V章 高分子化合物+

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	特進文系 コース	2	理科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
高等学校 生物	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然界の事象を、生物に関わる内容を理解することにより、理科的考察力を身につけ、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各期の考査によって、それぞれの学習範囲の理解度・知識力・考察力を評価を行なう。	日常の授業への取り組みや授業態度、課題等の提出物によって評価を行なう。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	第2章 代謝 4 異化	【中間】
	5	第3章 遺伝情報の発現 1 遺伝情報とその発現 2 遺伝子の発現調節	
	5	3 バイオテクノロジー	
	5	第4章 有性生殖	
	5	1 減数分裂と受精 2 遺伝子と染色体	
	6		
第2学期	7	第5章 動物の発生 1 配偶子形成と受精 2 初期発生の過程 3 細胞の分化と形態形成 4 器官形成と細胞の死	【期末】
	9	第6章 植物の発生 1 配偶子形成と胚発生	
	10	第7章 植物の環境応答 1 植物の環境応答と植物ホルモン 2 植物の環境応答とその他	
	10	第8章 動物の反応と行動 1 刺激の受容と反応 2 動物の行動	
	11	第9章 個体群と生物群集 1 個体群 2 生物群集	
	12		
第3学期	1	第10章 生態系 1 生態系の物質生産 2 生態系と多様性	【期末】
	1	第11章 生物の進化 1 進化のしくみ 2 生物の起源と生物の変遷	
	2	第12章 生物の系統	
	3		

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
理科演習	3	特進文系 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
高等学校生物基礎、改訂高等学校化学基礎 チェック&演習生物基礎、チェック&演習化学基礎	第一学習社 数研出版

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	自然界のさまざまな事象を科学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養うとともに、受験対応能力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日頃の学習に取り組む姿勢、出席状況、課題や提出物の状況によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	化学基礎 教科書 第Ⅱ章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 【中間考査】
	5 6 7	チェック&演習化学基礎 問題演習 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合 【期末考査】
第2学期	8 9 10	チェック&演習生物基礎 問題演習 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第3章 体内環境の恒常性 【中間考査】
	10 11 12	第4章 体内環境の調節と免疫 第5章 植生の多様性と分布 第6章 生態系とその保全 【期末考査】
第3学期	1 2	第7章、第8章 実践演習1、2 問題演習 (化学基礎・生物基礎(総合的な問題)) 【期末考査】
	3	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
化学	3	特進理系 コース	4	理科
使 用 教 科 書 等			出 版 社	
高等学校 化学			第一学習社	

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察や実験を行い、化学的に探求する能力と態度を身につける。また、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的な自然観を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。[3学期は期末考査のみ実施]	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の出来具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第I章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶 ①化学結合と結晶の性質 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結晶の構造 ⑤分子間力と分子結晶 ⑥非晶質 第2節 物質の三態変化 ①物質の三態とその変化 ②気液平衡と蒸気圧 第3節 気体の性質 ①気体の体積変化 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在の気体 【中間考査】 第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド溶液 第II章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー ①反応熱と熱化学方程式 ②ヘスの法則と結合エネルギー 第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	7	
第2学期	7	第3節 化学反応の速さ ①化学反応の速さと濃度・圧力 ②化学反応の速さと温度 ③触媒 第4節 化学平衡 ①可逆反応と平衡 ②平衡状態の変化と平衡移動 ③平衡定数 ④平衡定数 ④電離平衡 第III章 無機物質 第1節 非金属元素の単体とその化合物 ①元素の分類と性質 ②水素とその化合物 ③希ガス 【中間考査】 ④ハロゲンとその化合物 ⑤酸素・硫黄とその化合物 ⑥窒素・リンとその化合物 ⑦炭素・ケイ素とその化合物 第2節 典型金属元素の単体とその化合物 ①アルカリ金属とその化合物 ②2族元素とその化合物 ③亜鉛・水銀とその化合物 ④アルミニウムとその化合物 ⑤スズ・鉛とその化合物 第3節 遷移元素の単体とその化合物 ①鉄とその化合物 ②銅とその化合物 ③銀とその化合物 ④クロム・マンガンとその化合物 ⑤金属イオンの定性分析 【期末考査】 第4節 無機物質と人間生活
	8	
	9	
	10	
	11	
第3学期	1	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物 第5節 有機化合物と人間生活 第V章 高分子化合物
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	特進理系	3	理科

使用教科書等	出版社
高等学校 生物	第一学習社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	身近なところから自主的に問題を発見し、生物学的な探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の学習態度、出席状況や、課題や提出物のでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第5章 動物の発生 3. 細胞の分化と形態形成・・・①肺の区画化と調節遺伝子の働き ②胚葉の誘導 ③器官形成における反応能と誘導の連鎖
	5	4. 器官の形成と細胞死・・・①プログラム細胞死 ②アポトーシス 【中間考査】
	5	第6章 植物の発生 1. 配偶子の形成と胚発生・・・①植物の体制と発生の特徴 ②配偶子形成と胚発生 ③植物の器官の分化 探求活動5 花粉の発芽と花粉管の伸長
	7	第7章 植物の環境応答 1. 植物の環境応答と植物ホルモン・・・①環境変化に応じた植物の生長 ②植物の成長に関する
第2学期	8	2. 植物の環境応答とそのしくみ・・・①光に対する環境応答 ②花芽形成における環境応答 ③その他の環境応答
	8	第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応・・・①刺激の受容 ②神経系 ③効果器と反応 2. 動物の行動・・・①生得的な行動 ②学習による行動 【中間考査】
	10	第9章 個体群と生物群集 1. 個体群・・・①個体群動態 ②個体群内の相互作用 ③個体群間の相互作用 2. 生物群集・・・①多様な種が共存するしくみ ②環境形成作用と多種の共存
	10	第10章 生態系 1. 生態系の物質生産・・・①生態系における物質生産 ②生態系におけるエネルギーの移動 2. 生態系と生物多様性・・・①生物多様性の3つ考え方 ②生態系の攪乱と生物多様性 【期末考査】 ③生物多様性保全の意義
	12	第11章 生物の進化 1. 進化のしくみ・・・①進化の証拠 ②進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷・・・①生命誕生 ②原核生物から真核生物へ ③地球環境の変化と生物界の変遷 ④地質時代と生物界の変遷
第3学期	1	第12章 生物の系統 1. 真核生物ドメインにおける系統関係 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(男)	普通コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2016 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子をを整え体力の向上を図る。</p> <p>公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は中間考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・集団行動
	6	◇バレーボールゲーム ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト② ◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ ●実技試験
	11	◇バスケットボール ドリブルシュート オフエンス練習 ディフェンス練習 ゲーム ●実技試験
第3学期	1	
	2	◇体育理論 ◆期末考査
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(女)	普通 コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2016 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。</p> <p>公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	<p>自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。</p> <p>体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p>	<p>運動の意義や必要性を理解する。</p> <p>運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>3学期は中間考査を実施</p>	<p>計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。</p>
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<p>◇オリエンテーション</p> <p>◇スポーツテスト②</p>
	6	<p>◇陸上競技 走り幅跳び 砲丸投げ</p> <p>●実技試験</p>
第2学期	7	<p>◇民踊(体育祭練習)</p> <p>◇スポーツテスト①・体づくり運動</p> <p>◇バスケットボール 基本練習(パス・ドリブル・シュート) ゲーム ●実技試験</p>
	10	<p>◇バレーボール 基本練習(パス・サーブ) ゲーム ●実技試験</p>
第3学期	1	◇バレーボール
	2	<p>◇バレーボール ゲーム</p> <p>◇体育理論</p> <p>◆期末考査</p>
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(男)	進学文・理系 特進文・理系 コース	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2016 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子をを整え体力の向上を図る。</p> <p>公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は中間考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・集団行動
	6	◇サッカーゲーム ●実技試験
第2学期	7	◇体づくり運動 ◇スポーツテスト② ◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ ●実技試験
	11	◇バレーボール パス・スパイク・サーブ ゲーム ●実技試験
第3学期	1	(◇バレーボール)
	2	◇体育理論 ◆期末考査
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3学年(女)	進学文・理系 特進文・理系 コース	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2016 [総合版]	大修館書店

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子をを整え体力の向上を図る。</p> <p>公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は中間考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①・体づくり運動 ●実技試験(高校生体操)
	6	◇陸上競技 ハードル走 砲丸投げ 走り幅跳び ●実技試験
第2学期	7	◇民踊(体育祭練習) ◇スポーツテスト②・体づくり運動 ◇サッカー パス・ドリブル・シュート・実技理論(ルールと仕方) ●ゲーム(チーム) ●実技試験
	10	◇バスケットボール パス・シュート・対人練習・実技理論(ルールと仕方) ●ゲーム(チーム) ●実技試験
第3学期	1	◇バス血とボール ●ゲーム(チーム)
	3	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅱ	3	普通 コース	3	英語

使用教科書等	出版社
All Aboard! Communication English Ⅱ	東京書籍

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	Lesson 7
	5 ~ 7	Lesson 8
第2学期	7 ~ 10	Lesson 9
	10 ~ 12	Lesson 10
第3学期	1 2 ~ 2	Lesson 11

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	普通 コース	2	英語科

使用教科書等	出版社
Grove English Expression Ⅱ	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Lesson 1～3
	5月 7月	Lesson 4～8
第2学期	7月 9月	Lesson 9～15
	10月 12月	Lesson 16～18 Practice 1～3
第3学期	1月	文法のまとめ 補充プリント
	3月	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	進学文系 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication Ⅲ	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、VITAL単語テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	UNIT 1 Lesson 1 Space Elevators Lesson 2 Bamboo Trains Lesson 3 Cheese Rolling
	5 ~ 7	Lesson 4 The Hemline Index Lesson 5 Scarlet Ibises in Trinidad Lesson 6 NEWater: Singapore's Recycled Water Lesson 7 The Animal Lounge
第2学期	7 ~ 10	Lesson 8 Socotra - The Galapagoes of Lesson 9 A Unique Amusement Park in Germany Lesson 10 A Cardboard Bike Lesson 11 Brinicles-Deadly Ice Fingers
	10 ~ 12	Lesson 12 Bed Nets for African Children UNIT 2 Lesson 13 Earth Hour Lesson 14 The Rose Valley
第3学期	1 2 ~ 2	Lesson 15 The French School Lunch Lesson 16 EcoScraps: A Million-dollar Business

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学文系 コース	3	英語科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
Vision Quest English Expression Ⅱ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・ノート・課題等の提出物、授業中の取り組み姿勢などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Part1 Lesson 11 Lesson 12 中間考査
	5月 7月	Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 期末考査
第2学期	7月 9月	Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20 中間考査
	10月 12月	Part2 Lesson1 Lesson 2 Lesson3 期末考査
第3学期	1月	Part 2 Lesson4 Lesson5 期末考査
	3月	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	進学理系 コース	5	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication III	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、VITAL単語テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	UNIT 1 Lesson 1 Space Elevators Lesson 2 Bamboo Trains Lesson 3 Cheese Rolling
	5 ~ 7	Lesson 4 The Hemline Index Lesson 5 Scarlet Ibises in Trinidad Lesson 6 NEWater: Singapore's Recycled Water Lesson 7 The Animal Lounge
第2学期	7 ~ 10	Lesson 8 Socotra - The Galapagoes of Lesson 9 A Unique Amusement Park in Germany Lesson 10 A Cardboard Bike Lesson 11 Brinicles-Deadly Ice Fingers
	10 ~ 12	Lesson 12 Bed Nets for African Children UNIT 2 Lesson 13 Earth Hour Lesson 14 The Rose Valley
第3学期	1 2 ~ 2	Lesson 15 The French School Lunch Lesson 16 EcoScraps: A Million-dollar Business

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	進学理系 コース	2	英語科

使 用 教 科 書 等	出 版 社
Vision Quest English Expression Ⅱ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・ノート・課題等の提出物、授業中の取り組み姿勢などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Part1 Lesson 11 Lesson 12 中間考査
	5月 7月	Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 期末考査
第2学期	7月 9月	Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20 中間考査
	10月 12月	Part2 Lesson1 Lesson 2 Lesson3 期末考査
第3学期	1月	Part 2 Lesson4 Lesson5 期末考査
	3月	

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	特進文系 コース	5	英語科

使用教科書等	出版社
Grove English Communication Ⅲ	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	語彙・文法・構文を理解し、英語の長文読解力を高め、そしてセンター試験及び大学入試2次試験に対応できる総合的な英語力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・課題等の提出物、プレゼンテーション(発表)などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		Lesson4 The Hemline Index Lesson6 NEWater: Singapore's Recycled Water Lesson12 Bed Nets for African Children
		Lesson13 Earth Hour Lesson14 The Rose Valley
第2学期		Lesson15 The French School Lunch Lesson16 EcoScraps: A Million-dollar Business Built on Trash
		Lesson17 Lost Olympic Sports Lesson18 Afghan Children Dream of Musical Future
第3学期		Lesson22 Grandmothers as Solar Engineers Lesson24 The Invisible Gorilla

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特進文系 コース	3	英語科

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression Ⅱ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとりようとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	---

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・ノート・課題等の提出物、授業中の取り組み姿勢などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Part2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3
	5月 7月	Part 2 Lesson 4 Lesson 5
第2学期	7月 9月	Part 3 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3
	10月 12月	演習問題
第3学期	1月	演習問題

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅲ	3	特進理系 コース	5	英語科

使用教科書等	出版社
Grove English Communication III	文英堂

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	語彙・文法・構文を理解し、英語の長文読解力を高め、そしてセンター試験及び大学入試2次試験に対応できる総合的な英語力を身につける。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・課題等の提出物、プレゼンテーション(発表)などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		Lesson4 The Hemline Index Lesson6 NEWater: Singapore's Recycled Water Lesson12 Bed Nets for African Children
		Lesson13 Earth Hour Lesson14 The Rose Valley
第2学期		Lesson15 The French School Lunch Lesson16 EcoScraps: A Million-dollar Business Built on Trash
		Lesson17 Lost Olympic Sports Lesson18 Afghan Children Dream of Musical Future
第3学期		Lesson22 Grandmothers as Solar Engineers Lesson24 The Invisible Gorilla

科目名	対 象		単位数	担当教科
	学年	コース		
英語表現Ⅱ	3	特進理系 コース	2	英語科

使用教科書等	出版社
Vision Quest English Expression Ⅱ	啓林館

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	原則として、各学期に中間・期末考査を実施し、総合的な英語力を確認し評価する。	授業中の小テスト、プリント・ノート・課題等の提出物、授業中の取り組み姿勢などを総合的に評価する。
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	Part1 Lesson 12 Lesson 13
	5月 7月	Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16
第2学期	7月 9月	Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20
	10月 12月	Part2 Lesson1 Lesson 2 Lesson3
第3学期	1月	Part 2 Lesson4 Lesson5